Bグループ

現状・課題

- どこにどのような意見を伝えると良いのかがよく分からない。
- アパートへ入居していると広報誌なども届かず情報が入らずにこまってしまった。改善の必要があると思う。

対応

- 電話、窓口等での住民の方々の質問・意見を担当部署へ伝える。
- ネット・投書などで市に意見する。
- 窓口の方に意見や質問をする。

対応についての問題点

- 一個人の意見としては反映できないこと。
- 市民の総意であるかを判断することが困難であること。
- 行政の役割と個人の役割が不明確な部分が多い。
- 明らかに個人の問題について行政に持ち込まれることがある。
- 明らかに個人の問題について行政に持ち込まれることがある。
- まちづくりへの参加の一形態としての要望に財源の裏付けややめてもいい事業の案が無い。
- 自分の家庭（または敷地）内のことやその類似事項については、自ら取り組んでほしい。

解決策

- 問題解決に対しての手引書の作成
- 転入の際に市のＨＰを教える。ＨＰの利用
- コンビニや病院などに広報誌を置いておく
- 新聞折り込みに広報誌を入れる。
- （困りごと・相談についての）フローチャート的なものを作成。
- 地デジの活用

まちづくり参加に対する現状・課題

- 地域活動・市政への参加の仕方がわからない。

対応

- 市や青年会など主催のイベントに参加。
- 役所主催のクリーンキャンペーン（ごみ拾い、植物を植える）への参加。
- 地域活動への参加から始まる。自分の生まれ育った白河市をさらに好きになります。もっと良くしていきたいと考えることができると思います。
- 投票
- 議会等のぼう聴

対応についての問題点

- 地区内の行事に参加
  町内会単位の参加
  若者の参加がほしい。
- 参加者が少ない。
  資金が集まらない。

解決策

- 伝統的な行事を継承していく為に広くＰＲすれば募金も集まり地域の活性化につながる。
- 地域交流を深める。

課題

- 市と連携・協力している活動とは？

対応

- 奉仕作業、スポーツ行事、学校行事すべて市民の方々と協力して行っている。
- 市、自治会と一緒に環境美化活動。
- 団地の「自治会」を通して環境保護活動に参加している（協働）

対応についての問題点

- 市民の意識改善の必要。

解決策

- アパート入居者などにも声をかけ、地域一丸となって活動を出来たら良いと思う（住みよいまちづくりの為にも、、、）
- グループ分けで交流のきっかけを作る（スポーツ行事など）。
  リーダーに引っ張ってもらう。